

■ ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

レディースハーモニー 25周年記念演奏会

▼日時 5月1日(日)

開場 14時 開演 14時30分

▼内容 創立25周年を記念し、歴代の顧問や指導者を招いて演奏会を開催します。

▼整理券配布場所 ふれあい倉庫及びFIKA

▼問合せ レディースハーモニー 小林 (☎ 23 - 2040)

【多目的ホール】

早くも春物処分セール

▼日時 4月13日(水)・14日(木)

9時30分～18時30分

▼内容 春物衣料を格安で販売します。

▼問合せ 松谷 (☎ 22 - 2355)

塾生春の作品展

▼日時 4月15日(金)～22日(金) 10時～18時

▼内容 中川絵画塾の塾生による作品発表会。油絵、水墨画など日ごろの成果をご覧ください。

▼問合せ 中川絵画塾 (☎ 22 - 3675)

お知らせ

◆4月から営業時間が変更となります。

直売コーナー：9時30分～18時

◆施設の利用方法

ふれあい倉庫では、貸館業務をふれあいホール運営協議会に委託しています。施設利用の申込みと使用料の支払いは、ふれあい倉庫の事務カウンターでお願いします。

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

FIKAでは特産品販売、観光イベント情報の提供や各種パンフレットを配置しています。また、ミニギャラリーでは各種作品展示会を開催しています。

[4月の展示会]

「野菜の植物エネルギー」写真展

▼内容 中小屋野口農園さんの野菜の花をメインに撮った写真展

▼展示期間 4月1日(金)～30日(土)

▼問合せ 株植物エネルギー 堀田 (☎ 23 - 3792)

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

FIKA (☎ 27 - 5388)

商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成23年3月17日(木)

3月11日午後2時過ぎに発生した地震は当初、当別ではとても想像もつかない大惨事になった。

翌朝から2～3日はテレビからCMは消えて、どのチャンネルも終日被災状況の放送ばかりになった。

東北から関東まで太平洋岸は津波で町ぐるみ壊滅してしまって、建物も人もすっぽり消えてしまった。津波の威力を知らない私には、映像が戦争物語や国際紛争のニュースより遥かに強烈だった。

新聞は見出しの活字一つが握り拳ほどの大きさと、小さな女の子が“母さんを探して”と泣いている写真に胸が張り裂けた。

姉妹都市の大崎市では、市役所のインターネットが使えなくなったので当別町から大崎市民に情報を伝えて欲しいと、いち早く依頼され、すぐさま4～5名の職員がお手伝いを始めた。

大崎市に関係のある人、数百人から“当別町のホームページでやっと状況が判った有難う”とか“当別町と繋がっていると判っただけで気持ちが少し落ち着いた”と涙声でお礼の電話が入って来るので、職員達は土日返上、夜間勤務もいとわず使命感に燃えていた。

私達は何とかして早く支援物資を送りたくて陸路も海上も大混乱の中で、いろいろ努力して15日の午後やっとフェリーが予約出来て、大崎市へトラック一台だけ走らせる許可が得られた。

いろんな食品と毛布の他、日用品やガレキを除去する為のハンマーや手袋、靴など大勢の職員でダンボールに詰め込んだ。

思いがけず有難い事に、石狩の田岡市長さんと新篠津の東出村長さんが「当別の姉妹都市大崎市を支援したい」と沢山の物資を提供して下さいました。

職員も感激して10tトラックに救援物資を満載し、地震から5日後やっと函館港へ向って行った。

そして今朝は町の防災担当職員と保健師達、男女7名、車で小樽港から大崎市の避難現場に支援に行ける見通しがついた。

まだ寒い朝7時に見送りに来ていた大勢の職員達は“災害支援のベテランに任せたよ！私達は後方支援で頑張るからね”と言っているようで皆いい顔だった。

マグニチュード9.0の地震は近代日本の知恵を集めた建物を破壊してしまったけど、一億の心はコンクリートより強く固まったと思う。

当別町長 泉 幸俊 考